

2年『地理総合』夏休み課題

③富山県氷見市



商店街から歩いて 10 分のほどのところにショッピングセンターがあり、そこにはスーパーマーケット、魚屋、100 均、衣料品、本屋、クリーニング屋さんがあるそうなので、ショッピングセンターに行くだけで普段欲しい日用品は揃ってしまいそう。また、田舎の方は車移動がほとんどであるだろう。ショッピングセンターには駐車場もあった。商店街にも駐車場はたいくつかあったが、行きたいお店と駐車場が遠いと歩くことになってしまうので一つで完結するショッピングセンターの方へ行き、みんな商店街には行かなくなってしまったと考える。

④熊本県熊本市川原町繊維問屋街



熊本市の中心の繁華街から川を挟んで離れており、集客面で不利な立地であるため、新しい商業施設や流通形態の変化に取り残されてしまったと考えられる。
また歴史の観点から考えると、昭和 33 年(1958 年)に発生した大火災(長六の大火)での建物の消失、破損による建物の老朽化によって店が離れ始めたとも考えられる。

どうして？ どうする？

地図と知識をフル活用した深い学び

2年生全員が学習する「地理総合」で夏休みの課題を出しました。4つの課題から1つを選びます。

課題はこちら▼

- ①社会の課題を研究者として、技術者としてどう変えていく？
- ②スマート農業は日本の農業を救うか？
- ③ボルネオ島のオラウータンを守る方法
- ④募集、シャッター商店街の写真！地方中小都市の抱える課題とは？

シャッター商店街になった理由を昔の地図と比較し、要因を考察してもらいました。一部紹介します！

⑤島根県松江市寺町松江中央通商店街



・松江駅付近の繁華街からは、やや外れているような印象は受けたが、距離で言えば決して遠い場所にあるわけではない。地図で付近を探索したが、大型のショッピングモール等がある訳でもなかった。現地を歩いてあまり通行人を見かけなかったことから、松江市自体の人口減少が原因なのではないかと推測している。

・シャッター商店街となるような要因があまり無いように感じたため、インターネットで検索してみたところ、市立病院の移転により患者などの利用者が減ったこと、周辺の核施設となっていた島根県唯一のデパート、一畑百貨店の移転により市中心部の空洞化が進んでいるとの情報が見つかった。(山陰中央新報デジタルより)